



8月もいよいよ最終週を迎えました。

楽しかった夏休みの余韻がまだ残り、どこか夏休み気分が抜けきらない子ども達の姿もちらほら見られます。少しずつ早寝・早起きなど生活のリズムを整え、元気いっぱいの園生活を取り戻していきたいと思います。

層の上では秋へと向かう頃ですが、まだまだ厳しい残暑が続きます。

園でも水分補給や休息を十分に取ながら、一人ひとりの体調に気を配って参ります。

そして、せつかくの夏… 急いで秋に向かわなくてもいいですね。

青空や虫の声など、もう少しだけ夏ならではの楽しさを子ども達と味わいながら、元気に8月を締めくくりたいと思います (笑)



△▼△年長児「大縄跳び」の取り組みについて△▼△

長年にわたり、運動会を盛り上げるプログラムとして、年長児による「大縄跳び」を、代表的なプログラムの一つとして行ってきました。クラス全員が順に縄へ入り、仲間と気持ちを合わせながら連続して跳ぶ姿は、年長児ならではの見応えのある演目として、楽しみにして下さっていた保護者の方も多いことと思います。

大縄跳びに取り組むねらいは、単に上手に跳べるようになることではありません。一人では難しいことも、仲間と気持ちや力を合わせることで成し遂げられることを実感すること。また、失敗しても諦めずに挑戦する心、友達を待つこと、励ますこと、みんなで一つのことをやり遂げる喜びなど、幼児期の大切な育ちに繋げることにあります。これまでの取り組みの中でも、その教育的な成果を数多く感じてきました。

一方、大縄跳びは年長児にとっても難易度の高い活動です。運動会という限られた期日までに「クラス全員で成功させる」ことを目標にすると、なかなか縄に入れない子や跳ぶことが苦手な子にとって、練習そのものが大きな負担になってしまう場合があります。

そこで今年度からは、大縄跳びを運動会のプログラムとして発表することをいったん見直すことといたしました。ただし、大縄跳びそのものをやめるわけではありません。むしろ運動会というゴールを設けず、日々の園生活の中で時間をかけて継続的に取り組んでいきたいと考えています。「いつまでにできなければならない」ではなく、一人ひとりが自分のペースで挑戦し、友達と励まし合いながら、できるようになる過程そのものを大切にしていきます。運動会は子ども達の成長をご覧いただく大切な機会ですが、幼児教育の目的は、運動会当日に上手に見せることではありません。その日に至るまで、そしてその後も続いていく一人ひとりの育ちを大切にすることだと考えています。「大縄跳びで何を見せるか」ではなく、「大縄跳びを通して何を育てるか」を改めて大切にしたい今回の見直しです。保護者の皆さんのご理解をいただければ幸いです。

力を合わせて最後まで！

～第55回大運動会のご案内～

本園の「運動会」は、「一人ではできないことも仲間と力を合わせればこんなこともできるようになる！」をテーマに、友達との『共同・協同・協働』を実体験することをねらいとして行います。

白ゆりっ子達は、これまでの幼稚園生活を通して、心の面でも体の面でも大きな育ちを見せて来ております。そんな白ゆりっ子達の育ちをご覧いただきたく、次の通り「第55回大運動会」を開催いたします。

と き : 9月10日(木)

と ころ : 真駒内セキスイハイムアイスアリーナ(南区真駒内公園1-1)

開 場 : AM8:30

開 始 : AM9:30

終了予定 : つぼみぐみ&年少児 PM12:00頃 年中児&年長児 PM14:00頃



小さな努力をコツコツと積み重ね、勝つ喜び、負ける悔しさ、達成感、満足感… たくさんの「心の揺れ動き」を経験してきました。

我が子の成長した姿はもちろん、クラス・学年の垣根を超えて、共に育ちあっている友達の姿も合わせてご覧下さい。白ゆりっ子達の躍動する姿、特に「心の育ち」には、嬉しい気持ちが溢れています。

つぼみぐみ・年少児クラスのご家族の皆さんは、年中児・年長児の姿を2年後、3年後の我が子の姿と重ね合わせてご覧下さい。

子ども達にとっては、パパやママをはじめとするご家族の皆さんの声援が

何よりも嬉しく、『力』になります (笑)

白ゆりっ子達の躍動する姿にたくさんの声援と

拍手をお願い申し上げます。

